



親子で力を合わせて(総上小学校にて)

### 小学校運動会・中学校体育祭が開催

子どもたちにとって特別なイベントである、小学校運動会と中学校体育祭。今年は、5月14日に中学校で、5月23日に小学校でそれぞれ開催されました。

中学校の体育祭では、生徒たちが競技に真剣に取り組み、白熱した戦いを繰り上げました。各チームが一丸となって励まし合い、全力を出し切る姿は、見る人に感動を与えてくれました。小学校の運動会では、親子で参加する借り物競争や綱引きなどで大いに盛り上がりました。子どもたちの元気な声と笑顔がグラウンドを包み込み、保護者も一緒になって楽しむ、温かい光景が見られました。

☒ 学校支援課



### 【春の叙勲】瑞宝双光章(教育功労)／江原陽子さん 教育界での功績を称え受章

江原陽子さん(本宗道・70歳)は、昭和53年に新採教員として関城町立(現・筑西市立)関城中学校に着任し、平成20年には坂東市立弓馬田小学校長に就任し、平成28年に下妻市立千代川中学校長を退職されました。その間、県西教育事務所長などの要職を歴任し、県の教育行政を牽引。千代川中学校長時代には、下妻市校長会会長や県女性校長・教頭会会長なども務められ、教育振興に力を尽くされました。

退職後も、茨城県教育委員会教育委員に就任し、県の学校教育の充実発展に大きく貢献されています。また、在職中の平成27年には長年の功績が認められ、文部科学大臣から教育者表彰を受賞されました。

江原さんは「今回の受章は、ひとえに皆さまのお陰と深く感謝しております」と感謝の思いを語りました。このたびの受章おめでとうございます。

### 鬼怒フラワーラインで「さつまいも定植大会」

6月7日、大形橋上流左岸河川敷の鬼怒フラワーラインで、花と一万人の会が主催する「さつまいも定植大会」が開催されました。

当日は、大形小学校や青龍楽校の児童、保護者の皆さんなど、たくさんの方が参加しました。一本一本丁寧に苗を植え、「みんなでわいわい楽しく植えることができよかった。植えたさつまいもを収穫するのが楽しみ！」と笑顔で話してくれました。

今回植えたさつまいもは、10月に行われる「ポピーの種まき&さつまいも掘り大会」で収穫予定です。

花と一万人の会の辻川会長は「きれいなポピーを咲かせるための種まきに、また今日植えたさつまいもの収穫にぜひご参加ください」と呼びかけていました。

☒ 都市整備課



秋の「さつまいも掘り大会」を心待ちにしながら

### 【春の叙勲】瑞宝双光章(消防功労)／高橋周一さん 消防体制の強化と地域の安全・安心に大きく貢献

高橋周一さん(宗道・67歳)は、昭和54年に消防団に入団して以来、長年にわたり消防団活動に従事し、温厚かつ責任感の強い前団長として地域の安全に貢献されました。特に、下妻市と千代川村との合併に伴う消防団の統合や組織再編に尽力。婦人防火クラブ等と連携した住宅用火災警報器の設置促進にも力を注ぎました。

団長在任中は、防火水槽や消火栓の設置、消防ポンプ車の購入を積極的に行い、消防力の向上に貢献。また、災害現場では豊富な知識と経験を活かし、令和元年の工場火災や台風19号の際にも優れた指揮を発揮されました。

高橋さんは「このような栄誉ある章をいただき、大変感謝しております」と感謝の思いを語りました。このたびの受章おめでとうございます。



泥んこになりながら田植えを楽しむ子どもたち

### 泥んこになって田植えに挑戦！ 銀座の児童・園児たちが田植え体験

5月31日、東京都中央区立泰明小学校・幼稚園ファーマーボランティアによる恒例の「親子田植え体験会」が、今泉地区の水田で行われました。

当日は晴天に恵まれ、同小学校の児童と同幼稚園の園児、その保護者ら約70人が参加。受け入れ農家である石島和美さんの指導のもと、田植え作業に挑戦しました。

また、地元の総上地区の有志の方々との親睦も深められ、田植え体験を通じて地域を超えた交流の輪が広がりました。泥だらけになりながら苗を植える子どもたちの歓声が響き渡り、農業を肌で感じる貴重な機会となりました。

☒ 農業政策課



### 【春の叙勲】瑞宝単光章(調停委員功労)／宇梶 亨さん 当事者に寄り添い、紛争解決に貢献

宇梶 亨さん(下妻乙・70歳)は、平成16年から令和7年までの21年間にわたり、水戸家庭裁判所や水戸地方裁判所の調停委員として活躍されました。また、家庭裁判所の参与員や地方裁判所の司法委員としても長年尽力されました。

調停委員は、裁判所で紛争を解決するために中立の立場で話し合いをサポートします。宇梶さんは、夫婦関係の調整から遺産分割まで多種多様な難しい事件を多数担当し、裁判官や裁判所職員と連携して、適正かつ迅速に事件を解決へと導いてきました。さらに、新任委員の指導にも力を注ぎ、調停委員全体の能力向上にも貢献されました。長年の経験を生かした安定した調停運営は、当事者から厚い信頼を得たばかりでなく他の委員の模範となり、調停制度への信頼を大きく高めました。

宇梶さんは「このような章をいただき、大変光栄に思います」と感謝の意を表しました。このたびの受章、おめでとうございます。